

役場職員に聞く

vol.2 公共交通の活性化を目指して

協力：地域推進課地域推進グループ

安平町が行っている事業や政策など、町民の皆さんが利用することの多い場所や取り組みについてご紹介します。今回は、公共交通行政を担当する地域推進課地域推進グループの高橋さんに話を聞きました。

取材：地域おこし協力隊 木下知佳

地域・町民の活動を支える仕事

地域推進グループでは、地域の協働推進、自治会・町内会やNPOの活動支援、公共交通男女共同参画など、大きく言うと町民活動を支える業務を行っています。

今回はその中で、公共交通についてお話しします。町内では鉄道、路線バス（幹線・支線）、デマンドバス、ハイヤーが役割分担しながら運行しています。公共交通をうまく組み合わせることで、総合時刻表の制作や共通回数乗車券の発行など、利用促進に繋がるような策を講じています。町ホームページ内公共交通のページに計画の実施状況などを記載していますので、下記QRコードからご覧ください。



こちらに聞きました

高橋 克年さん

喜茂別町生まれ、室蘭市育ち、追分在住。平成14年4月、旧追分町役場に就職、教育委員会に。平成26年から企画財政課に配属となって平成30年から地域推進課地域推進グループに。



公共交通の現状

町内で最も利用が多いのは鉄道。通学で使う人が多いため、朝夕を中心に運行されています。一般の利用者を増やすためにイベントと連携し、乗車機会を作ったり、共通回数乗車券の発行で継続利用を促すというように、月に数回程度でも長く利用し続ける方を増やしたいですね。

その共通回数乗車券は、今年8月から追分駅窓口と早来駅物産館で購入する鉄道きっぷの運賃の代金としても利用可能になり、町内全ての公共交通でご利用いただけるようになりました。運転免許証を自主返納した方や8歳以上などその他要件に合致する方には町から交付する支援制度もあります。使用せずに貯めておく方が多くおられるのが課題となっていて、公共交通を維持するための積極的な取り組み



共通回数乗車券は3,000円、2,000円、500円があり、いずれも11枚で10枚分の料金で販売。有効期限なし。

効活用してもらいたいです。

路線バスの運行については「停留所を作ってほしい」「経路を変えられないか」といった要望をいただきます。どんな利用が必要かお聞きすると、自宅と停留所間を移動するデマンドバスが最適なケースやハイヤーが担う臨時的用途であるケースが多いので、代替案と併せて公共交通の現状と役割分担を説明しています。

ハイヤーは移動手段の最後の砦

町内のハイヤーは、(有)追分ハイヤーが追分と早来エリアで1台ずつ営業しています。再開の要望が多かった早来エリアは今年4月から運行していますが、想定より利用が少なく、利用者ゼロの日もあつた土曜は10月からやむなく休業（月曜～金曜9時～18時の営業に縮小）するなど、大変厳しい状況です。

しかし、自由度の高いハイヤーは移動手段の最後の砦として地域に不可欠な公共交通だと考えます。例えば、ウィズコロナ期にあっても重症化するリスクが高いとされる高齢者等が生活に必要な移動が

できるのは、個別移動ができるハイヤーの存在が大きいと思います。なお、新型コロナウイルス感染の不安を軽減する措置として、町民がハイヤーを半額で乗車できる事業を来年3月末まで実施していただきます。買い物や病院に行きたいけれど、移動時に密になるのが不安で外出を躊躇するというのは、降車時にサインするだけです。で、ぜひ活用ください。

本当に公共交通を必要とする人のために、より活性化し確保することが責務だと思っています。「みんなが支える公共交通」という意識で、事業者と利用者の歩み寄りにより、調和の取れた公共交通網が形成されるよう、ご理解とご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染拡大防止個別旅客等運送緊急対策事業 ハイヤー運賃補助事業 補助実績（9月末時点） (件)						
	5月	6月	7月	8月	9月	合計
追分	72	420	479	412	400	1,783
早来	38	205	216	171	181	811
合計	110	625	695	583	581	2,594